

認め合う

宍粟市社協 第4次地域福祉推進計画

2020年度～2024年度

概要版



# 支え合い ふくしプラン

みんなですすめよう  
ふくしでまちづくり



社会福祉法人  
宍粟市社会福祉協議会

2020年8月

# だい じ 第4次

# ち いき ふく し すい しん けい かく 地域福祉推進計画とは

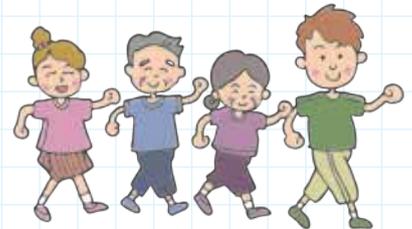
しゃきょうはつ

ち いき ふく し すい しん けい かく

## “社協発”の地域福祉推進計画

社会福祉協議会（以下「社協」という）は、社会福祉法第109条において、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として明確に位置づけられており、すべての都道府県・市区町村に設置されています。社協は、地域の人々だれもが住みなれた町で、いつまでも安心して暮らせる「ふくしのまち」をつくることを理念としています。

社協が策定する「地域福祉推進計画」は、社協の強みである地域とのつながりを重視し、地域住民をはじめ、地域で活動するさまざまな団体・機関などが連携・協働して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。



ち いき ふく し もくひょう けい かく あいしょう

## 地域福祉目標と計画の愛称

本計画では、社協の使命と地域福祉の情勢を踏まえ、地域共生社会の実現に向けた「ふくしでまちづくり」を進めていくために、「みんなですすめよう ふくしでまちづくり ～`ほっとけない、を ほっとかない 宍粟に～」を地域福祉目標として定め、8つの活動目標と3つの社協目標を設定しました。そして、地域、団体、行政、社協などが連携と協働を図りながら“支え合い”を進める本計画にふさわしい愛称として、第3次計画に続いて、「支え合いふくしプラン」と名付けました。計画の全体像は、総合体系図のとおりです。



## みんなですすめよう ふくしでまちづくり ～`ほっとけない、を ほっとかない 宍粟に～

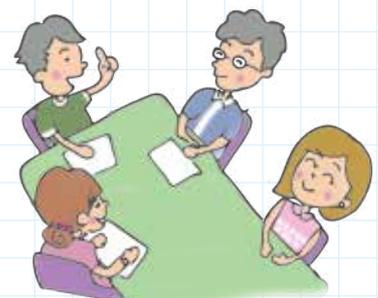
ささ あ  
支え合い  
ふくしプラン



けい かく すい しん き かん

## 計画の推進期間

計画の推進期間は、2020年度から2024年度までの5か年とします。本計画では、宍粟市社協が5年間で取り組むべき課題を具体的に示し、その評価を行いながら目標を達成していきます。そして、社会情勢の変化や「第3期宍粟市地域福祉計画（推進期間は本計画と同じ）」と整合性を図るために、行政と連携をとりながら、毎年、計画の進捗状況を確認し、新たな課題には適宜対応していきます。



## 計画を推進する3つの視点



本計画のすべての活動・事業展開において、次の3つの視点をもって取り組みます。

これからは、地域での「役割」「出番」「居場所づくり」、それを進めるための「支え合い」が特に重要となり、支えられるだけでなく、だれもが役割を持って生き生き活躍できる地域社会を住民と専門職が協働して作り出せる取り組みをめざしていきます。

1

### 住民同士で 助け合い安心できる 地域づくり

だれもが輝きを持てる機会や居場所づくり、地域で気になる人たちの見守り活動など、いざという時に住民同士で助け合える地域づくりを進めます。

2

### みんなで協力し 支え合う つながりづくり

住民やボランティア、企業、関係団体、行政など、幅広い関係者が福祉への理解を深め、支援を必要としている人を協力して、支え合えるつながりづくりを進めます。

3

### 自分らしい 暮らしが続けられる 仕組みづくり

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられるよう、困りごとの把握や福祉サービスの充実など、暮らしを支えるさまざまな取り組みを進めます。

## 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「持続可能な開発目標」(SDGs/エス・ディ・ジーズ)は、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、「誰一人取り残さない」という誓いのもと、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、17の目標で構成されています。市民のみなさんがともに支え合い、いつまでも安全・安心な町で暮らし続けられるような地域をつくるために地域福祉活動に取り組むことで、国際目標であるSDGsの一部と深くつながるものと考えています。



第4次計画では、SDGsのうち、「1 貧困をなくそう」「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「8 働きがいも経済成長も」「10 人や国の不平等をなくそう」「11 住み続けられるまちづくりを」と関連しています。

だい じ ち い き ふく し すい しん けい  
第4次地域福祉推進計

かつ どう  
活動  
目 標  
もく ひょう

だい じ ち い き ふく し すい しん けい かく      だい じ けい かく  
第4次地域福祉推進計画では、第3次計画で  
めい かく か      か だい      さら      じゅう じつ      はってん  
明確化した課題の更なる充実と発展をめざした  
かつ どう もく ひょう      せってい      と      く  
「活動目標」を設定し、取り組んでいきます。

ち い き ふく し  
地域福祉  
もく ひょう  
目標

1～8



1 たが      た よう せい      みと      あ  
お互いの多様性を認め合う  
ふく し      がく しゅう      きょう ぎ      ば  
福祉学習・協議の場を  
すすめよう



2 ち い き  
地域でだれもが  
あん しん  
安心できる  
い ば し ょ  
居場所をつくろう



3 ち い き      さ さ      あ  
地域を支え合う  
ネットワークの  
じゅう じつ  
充実をはかろう



4 ち い き      み ま も  
地域で見守り  
かつ どう  
活動をすすめよう



しゃ      きょう  
社協  
目 標  
もく ひょう

しゃ きょう      ひと      もの      かね      じょう ほう  
社協は「人・物・金・情報」などの  
かつ どう しげん      じゅう じつ      かつ どう もく ひょう  
活動資源の充実をはかり、活動目標の  
と      く      おう えん  
取り組みを応援します。

1～3

1 じゅう びん      しん らい  
住民から信頼  
そ し き  
組織をつくり

みんなですすめよう ふくしでまちづくり

～「ほっとけない、を ほっとかない<sup>し そろ</sup>宍粟に～



なで  
りあって  
あ  
合おう



5 だれもがだれかの役に…<sup>やく</sup>  
ボランティアの輪を<sup>わ</sup>  
広げよう<sup>ひろ</sup>



6 ち いき ぼうさい げんさい  
地域で防災・減災の  
い しき たか  
意識を高めよう



7 く ささ  
暮らしを支える  
ふくし  
福祉サービスを  
じゅうじつ  
充実させよう



8 ち いき み じか そうだん  
地域の身近な相談を  
う  
受けとめてつなごう



2 じゅうみん ひつよう じょうほう  
住民に必要な情報を  
ひろ つた  
広く伝えます

3 ち いき ふくし かつどう ざいげん  
地域福祉活動財源の  
かく ほ  
確保につとめます

される  
ます

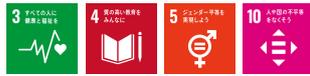
# 活動目標

1~8をみんなで達成しよう!

1

## お互いの多様性を認め合う 福祉学習・協議の場をすすめよう

- 子どもたちが人権や福祉を学ぶ環境を整えよう
- 地域ぐるみで子育てしやすい環境をつくろう
- 若者や女性も参加しやすい地域活動をすすめよう
- 地域・教職員向けの福祉学習研修の機会をつくろう



5

## だれもがだれかの役に… ボランティアの輪を広げよう

- 新たな活動を提案し人材を発掘・育成しよう
- ボランティア・市民活動センター機能を充実させよう
- 企業・団体などの地域貢献活動をすすめよう
- 高齢者の知識と経験を活かした地域活動への参加を促進しよう



2

## 地域でだれもが安心できる 居場所をつくろう

- 悩みをもつ人も安心できる居場所をつくり  
当事者活動を応援しよう
- だれもが気軽に立ち寄れる通いの場づくりを  
すすめよう
- ひきこもりの人たちへの理解を深める場をつくろう



6

## 地域で防災・減災の意識を高めよう

- 自主防災訓練に取り組み学習の機会をつくろう
- 災害時に対応できる人材や役割を地域内で確認しよう
- 災害時に地域の組織や団体同士が連携できる  
取り組みをすすめよう



3

## 地域を支え合うネットワークの 充実をはかろう

- 保健・医療・福祉・介護の関係機関とネットワー  
クづくりをすすめよう
- 地域・行政・企業・各種団体・学校・NPOなどの  
連携をすすめよう
- 社会福祉法人連絡会の組織化とネットワー  
クづくりをすすめよう
- 多様な主体が参画し生活支援サービスを開発しよう



7

## 暮らしを支える 福祉サービスを充実させよう

- 地域に密着した質の高い介護保険事業を展開しよう
- 障がいのある人の自立を支援する取り組みを  
すすめよう
- 配食サービスを通して高齢者の見守り体制を  
つくろう
- 日常生活自立支援事業を通して判断能力が不安な人  
の生活をささえよう



4

## 地域で見守り活動をすすめよう

- 福祉連絡会の組織づくりと福祉委員の活動を  
強化しよう
- 地域見守り会議で地域の話や課題を話し合おう
- お互い様のご近所ボランティア活動を広げよう
- 民生委員・児童委員活動と連携した見守り活動を  
すすめよう



8

## 地域の身近な相談を受けとめてつなごう

- さまざまな相談に対応できる関係機関同士の連携を  
はかろう
- 住民の生活の場に出向いた相談支援に取り組もう
- 結婚に関するさまざまな相談に対応しよう
- 行政と連携した生活困窮世帯への包括的な支援を  
すすめよう



# 社協目標

1~3の達成のために頑張ります!

## 1 住民から信頼される組織をつくります

- 職員の人材確保と専門性の向上をはかります
- 組織のガバナンスを強化します
- 災害時に対応できる体制をつくります

## 2 住民に必要な情報を広く伝えます

- 制度やサービス・地域活動など必要な情報を集めます
- 広報紙・ホームページなどの媒体を活用した情報を発信します

## 3 地域福祉活動財源の確保につとめます

- 地域福祉活動財源の使い道を可視化(見える化)します
- 地域福祉活動を進める補助・委託事業に取り組みます
- 新たな活動財源を検討します



# 計画の進行と周知

本計画では、「PDCAサイクル」を基本に計画を進めます。また、災害など想定外の事が起こったときに、臨機応変に対応するという視点として「OODA (ウーダ) ループ」の考えにも重点を置き、目まぐるしく地域の状況が変わっている中で、必ずしも計画だけに頼るのではなく、状況をみながら適宜判断していきます。

そして、毎月発行の広報紙「こんにちは! 社協です!!」やホームページなど、多様な情報媒体を活用しながら、支え合いふくしプランへの理解や関心が深まる取り組みを進めていきます。



PDCAは計画を練って、その計画を実行し、その結果を評価し改善するというサイクルを回すことで、自体の改善や効率化をめざす仕組みです。



OODAループは、もし変化が起きても柔軟に対応が可能で、何度もサイクルを回すことで、問題解決力が向上し、軌道修正しながら作り上げていきます。



宍粟市社協 第4次地域福祉推進計画

2020年度～2024年度

# 支え合い ふくしプラン

みんなですすめよう ふくしでまちづくり

～「ほっとけない」を ほっとかない宍粟に～

発行年月：2020（令和2）年8月

編集・発行：社会福祉法人 宍粟市社会福祉協議会

〒671-4137 兵庫県宍粟市一宮町閭賀300番地

TEL 0790-72-8787 FAX 0790-72-8788

計画の本編は [宍粟市社協ホームページ](http://www.shiso-wel.or.jp) でご覧いただけます

<http://www.shiso-wel.or.jp>



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



イラスト 裏 加藤 智子  
(第4次地域福祉推進計画策定委員)